

「平成29年度 長崎県建設業協会 高校説明会」

講師 長崎県県北振興局建設部 森山様
長崎県建設業協会 馬場様
長崎県建設業協会 福本様



1月29日（月）7校時、2年生を対象に長崎県県北振興局建設部の森山様、長崎県建設業協会の馬場様・福本様による「平成29年度長崎県建設業協会高校説明会」を実施しました。

建設業の具体的な仕事内容や社会的な役割について、講話等を聴く機会をつくることにより、建設業に興味をもっている生徒だけでなく、その他の生徒も普段は見えにくい仕事のしくみや大切な役割を知り、知識を広げることで、将来の進路選択について考えるきっかけとすることを目的として実施しました。

森山様からは、身近な大島大橋などを例に挙げ、県の管理する設備を新設・整備しているというお話や、最近ではドローンを活用し人間が直接行けないような場所の調査を行おうとしていること、建設業への女性の参入の増加を目指して、「現場女子会」などの工夫を行っているというようなお話を頂きました。

馬場様・福本様からは、長崎県で働いている人のうち、10人に1人は建設業に携わっており、建設業は地域の主要な産業であるということや、東日本大震災や長崎大水害といった災害を例に挙げ、災害時には自衛隊よりもはやく輸送路を確保するという重要な役割を建設業が担っているという印象的なお話も頂きました。

質疑応答では、2年1組の濱崎晴空くんの「建設業を目指しています。取得したほうが良い資格はありますか。」という質問に対して、「測量士と土木施工管理技師の資格は不可欠です。それ以外にも将来のキャリアのために多くの資格の取得を目指してください」というようなアドバイスを頂きました。



最後に、講師の方々は「建設業の新しい3K」として「感動・感謝・貢献」を挙げられ、建設業に興味をもって、ぜひともふるさとを守り、ふるさとに貢献してほしいと仰っておられました。

